

株式会社 平林組

# 環境経営レポート

活動期間2023年9月1日～2024年8月31日



2024年9月25日  
株式会社 平林組

# 1. 取組の対象組織・活動

## □組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 平林組

代表取締役社長 平林 友一郎

(2) 所在地

本 社 長野県佐久市 高柳 28-2

資材置場 佐久市 高柳 215-2

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 工事部 日向 正光 TEL : 0267-62-3765

担当者 工事部 篠原 茂文

(4) 事業内容

建設業 主要事業:給排水設備工事、公共工事（土木、建築、上下水道）、民間造成工事  
新築住宅設計施工管理、住宅増改築施工管理、造園工事

(5) 事業の規模

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	103	225	225
従業員数	人	10	10	10
敷地面積	m <sup>2</sup>	194.8	194.8	194.8

(6) 事業年度

9月～8月

## □認証・登録の対象組織・活動

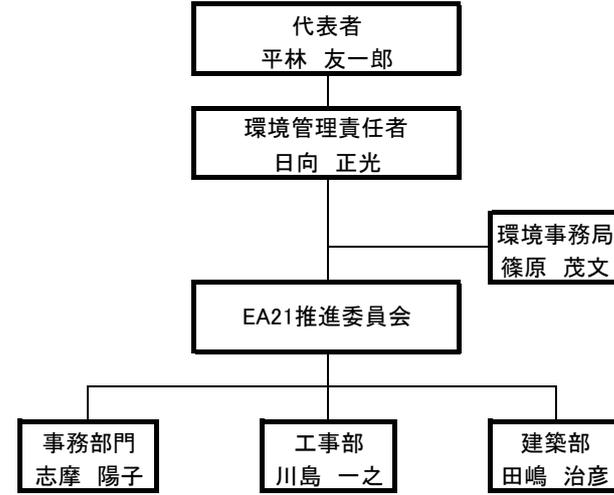
登録組織名： 株式会社 平林組 本社 及び 資材置場

関連事業所： なし

活動： 給排水衛生設備、土木工事、建築工事、水道施設工事、造成工事  
住宅設計・増改築の施工管理、造園工事

全組織、全活動、全従業員が対象です

## 株式会社平林組実施体制図



担当者	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"><li>環境経営に関する統括責任</li><li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li><li>環境管理責任者を任命</li><li>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li><li>環境目標・環境活動計画書を承認</li><li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li><li>環境活動レポートの承認</li></ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"><li>環境経営システムの構築、実施、管理、</li><li>環境関連法規等の取りまとめ票を承認</li><li>環境目標・環境活動計画書を確認</li><li>環境活動の取組結果を代表者へ報告・</li><li>環境活動レポートの確認</li></ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局</li><li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li><li>環境目標、環境活動計画書原案の作成</li><li>環境活動の実績集計</li><li>環境関連法規等取りまとめ表の作成</li><li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li><li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li><li>環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li></ul>
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"><li>各部門からの連絡、報告、要望等の調整及び協議。環境経営システムの実施状況調査、活動計画案の推進</li></ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"><li>自部門における環境経営システムの実施</li><li>自部門における環境方針の周知</li><li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li><li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li><li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li><li>自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成</li><li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li></ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"><li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li><li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li></ul>

# 3. 環境経営方針

株式会社 平林組は、土木、建築業を通して地球、地球環境の保全とその継承の重要性を認識し、環境負荷の低減、持続可能な循環型社会の構築に貢献します。この理念は、環境方針に反映し、次の世代へ残していくために、全社員は自主的・積極的に環境保全への下記の取組を推進します。

1. 当社に適応した環境マネジメントシステム構築及び実施運用を行い継続的改善及び環境負荷の低減を遵守します。
2. 当社の事業活動に関わる環境関連法令条例を含む及びその他要求事項を遵守します。
3. 当社の事業活動に関わる環境影響のうち、以下の項目を環境経営重点テーマとして自主的、積極的に取り組みます。
  - (1) 電力、燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
  - (2) 水資源使用量の削減
  - (3) 廃棄物の発生抑制及び適正処理
  - (4) 5S{整理・整頓・清掃・清潔・躰}を含めた環境教育訓練に取り組む。
  - (5) もったいない運動による、ムリ、ムダ、ムラを省き経費削減を行う。
  - (6) 会社及び建設現場周辺の清掃ボランティア活動への参加。
4. 上記の方針達成の為に、環境目標等を設定し、定期的に見直し環境経営システム(PDCA)を推進します。
5. すべての社員が、環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、**環境経営方針**を全従業員及び協力会社に周知します。  
また、**環境経営レポート**を作成、公表し、利害関係者が入手できるようにします。
6. 環境経営の継続的改善を誓約する

制定日:2011年3月1日

改定日:2022年9月20日

株式会社 平林組

**代表取締役 平林友一郎**

## 4. 環境経営目標（中長期）

9月～8月

項目	単位	基準値 (2020年)	2023年目標	2024年目標	2025年目標	
二酸化炭素削減	CO2排出量	kg-CO2	98,445	95,492	94,507	93,523
		(%)	100%	97%	96%	95%
	電力	kWh	15,501	15,036	14,881	14,726
	ガソリン	ℓ	14,537	14,101	13,956	13,810
	軽油	ℓ	19,204	18,628	18,436	18,244
	灯油	ℓ	2,900	2,813	2,784	2,755
	水使用量	m <sup>3</sup>	196	190	188	186
	一般廃棄物	kg	443	430	425	421
産業廃棄物	t	162	157	156	154	

中部電力(株) 2020度 二酸化炭素調整後排出係数 0.379kg-CO2/kWhを使用

## 5. 環境経営計画

### (1) 二酸化炭素削減について

電気使用量の削減	節電の徹底 →	事務所内…外出時／不在時の消灯徹底する
	→	事務所／倉庫の不要照明・不要換気扇オフ
	OA機器適正管理 →	未使用時電源オフ・節電モードの徹底
	退社時電源チェック →	目視確認

全車両(会社所有、通勤車両)に適用する

ガソリン、軽油使用量の削減	エコドライブの実施 →	急発進・急停止排除、経済速度の励行
	アイドリングストップの実施 →	エンジン停止、空ふかし排除
	運行車両の削減 →	乗り合わせなどにより運行車両を減らす
	車両管理の徹底 →	車両点検、適正空気圧、エンジンオイル等の管理
	運行管理の徹底 →	最適運行最短距離の選択

灯油使用量の削減	灯油ストーブ温度管理の徹底 →	ムダなストーブを使用しない(冬季20℃～22℃)
	退社時電源チェック →	目視確認(最終退出者と同伴者)

廃棄物排出量の削減	一般可燃ごみ削減 →	無駄なコピーをしない／不要な資料の削減 再利用の促進(コピー用紙裏表利用)
	混合廃棄物の分別 →	産業廃棄物と有価物の分別を確実にを行う

### (2) 水使用量の削減

節水の徹底 →	清掃時、手洗い時節水を各自にて行う
---------	-------------------

## 6. 環境経営目標の実績

項目		基準値 (2020年度)	2023年度 目標値		9月～8月 2023年度 実績値
CO2総排出量(kg-CO2)		98,445	97%	95,492	78,631
電力	kWh	15,501	97%	15,036	12,829
	kg-CO2	7,952		7,713	4,862
ガソリン	ℓ	14,537	97%	14,101	11,886
	kg-CO2	33,726		32,714	27,575
軽油	ℓ	19,204	97%	18,628	15,616
	kg-CO2	49,546		48,060	40,288
灯油	ℓ	2,900	97%	2,813	2,372
	kg-CO2	7,221		7,004	5,906
上水道	m <sup>3</sup>	196	97%	190	157
一般廃棄物	kg	443	97%	430	368
産業廃棄物	t	162.0	97%	157	159

中部電力(株) 2020度 二酸化炭素調整後排出係数 0.379kg-CO2/kWhを使用

## 7. 環境活動計画の結果の評価

取組項目	活動計画の内容	判定	次年度活動計画
電力の削減	・エアコンの温度設定 事務所:冷房 28℃、暖房 20℃	○	継続する
	・エアコンフィルターの定期清掃	○	
	・昼休みの30分間消灯	○	
	・照明器具の定期清掃	○	
	・省エネタイプの蛍光灯への切り替え	○	LEDに交換
	・エコドライブ10の実施	○	
車両燃料の削減	・重機の不使用時のエンジン停止の徹底	○	教育訓練
	・低燃費車優先使用	○	
	・書類作成時の1枚ベスト・2枚ベター指導	○	継続する
一般廃棄物排出量削減	・両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減	○	
	・3S活動を進め、資材置き場での資材の定位置・定量化を推進	△	継続する
産業廃棄物排出量削減	・分別徹底とリサイクル	△	継続する
	・節水ラベル貼付	○	
	・水道蛇口に節水コマ取り付け	○	継続する
水使用の削減	・洗濯頻度の見直し	○	
	・パンフレットの整備と営業担当の教育	△	継続する
	・キャンペーン活動の実施	△	継続する
省エネ工事の受注	・事業所周辺の定期清掃	○	継続する
地域活動			

良く出来た○、普通△、出来なかった×

## 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### (1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬・処	遵守
騒音規制法・振動規制法	指定地域における建設作業と届出	遵守
建設リサイクル法	対象工事における届出書面作成	遵守
水質汚濁法	貯油施設の事故時の措置と届出	遵守
グリーン調達基準	指定科学物質の管理	遵守

### (2) 違反、訴訟等

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去12年間ありません。

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ①年度目標には達成した、エコ意識は浸透している、今後も年度目標達成に向けて活動を継続してほしい。
- ②環境経営システムの運用を始めて14年、従業員にもかなり理解されてきたが、継続が難しく、更なる従業員への教育・訓練の内容・頻度を見直すと共に、全員参加で活動を進めるための仕組みを考え、実施してほしい。